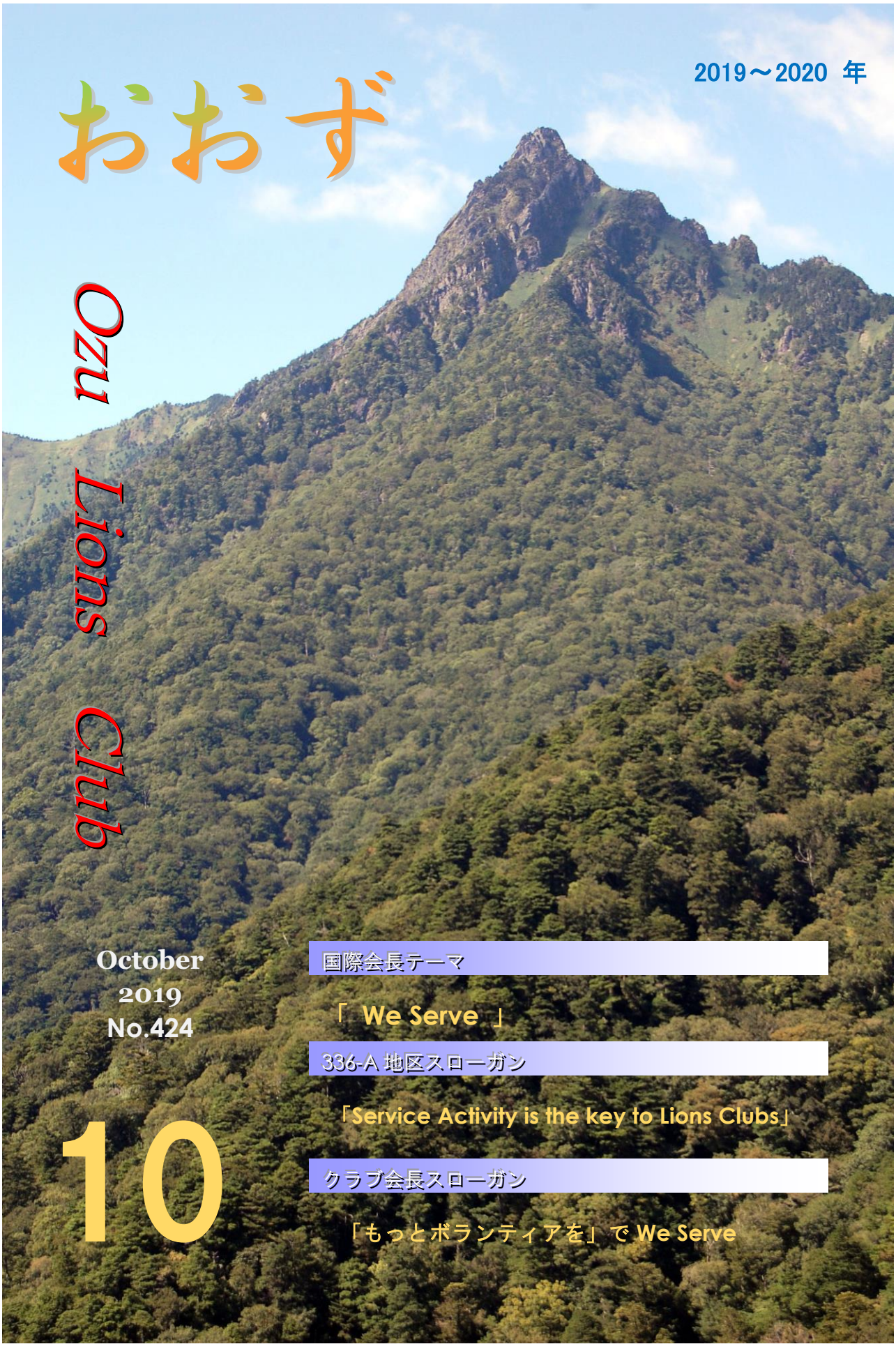


おおず

Ozu Lions Club

2019～2020 年

October
2019
No.424

10

国際会長テーマ

「 We Serve 」

336-A 地区スローガン

「Service Activity is the key to Lions Clubs」

クラブ会長スローガン

「もっとボランティアを」で We Serve

ガバナー公式訪問　　2019.9.21.　菊池敏則

令和元年9月21日（土）にたる井において、「地区ガバナー公式訪問」が開催された。
高岡英治地区ガバナー他キャビネット役員7名、3Rから岡本幸一RC他9名、各クラブから亀田大洲LC会長他45名総勢64名で開催された。
高岡地区ガバナーはあいさつで、次のように述べられた。5月19日からキャビネットが活動を始めた。出足が遅かったが、今から本領発揮である。災害が各地で起こっている。西日本もまだ復興半ばである。四国141クラブのために「ウィサーブ」。誠意をもって対応する。皆の意見を聞く。四国は一つであると述べられた。 続いて、酒井第一副地区ガバナーは、昨年の災害見舞を述べられると、10年前と比べて会員が7000人から5000人に減少している。会員増強が急務である。と述べていた。蔵本第二地区ガバナーも同じく会員増強を話された。

ガバナーの要望事項については、①LCIFへの寄付へのお願い。災害が多く発生している。日本も支援金を40億円もらっている。LCIFへの理解をお願いする。
②会員増強をお願いする。1クラブ1名の純増をお願いする。そうすれば141名の純増となる。
③糖尿病予防、小児がんの撲滅を。国際協会の範囲の中で、自分達のクラブのやり方でやって欲しい。ライオンズマンの誇りを胸に、自分のクラブを大切にコツコツと奉仕活動に邁進して欲しい。

澤田地区キャビネット幹事からは、会費の納入、OSEALフォーラム広島大会への参加要請。OSEALフォーラム広島大会は336-C地区がホストであるが、336A地区からは、各クラブ5名16000人をお願いしたい。LCIFのためのボウリング大会を計画している。内容が固まり次第お知らせする。

地区コーディネーターからは、クラブの解散、会員減が続いている。ガバナーのローテーションを廃止して、やる気のある人で盛り上げていかなくてはならない状況になっている。賛助会員、家族会員等多様性を必要ではないか。退屈な例会、複雑な人間関係、会費を払ってまでなどの意見がないようにクラブ運営をしていくことが大事ではないか。また、LCIFについては、1億2千万円の資金を計画している。決算書を6月に出している。ドネーション箱とLCIF箱を用意して1万円をお願いする。

岡本3RCは、3Rでも3クラブが解散した。解散予備クラブが2～3あると聞いている。危機感をもっている。また、LCIFのお金を地域に回すという意見が多いと発言された。それに対して、ガバナーからは、小さいクラブは大変だと思うが、20ドル、50ドルでもよいが、余裕があれば、増して欲しい。336A地区全体でカバーし合って達成すれば良いのでないかとの返答があった。

各クラブ会長の目標等については、

① 大洲LCは、本年度60周年となるので、1月25日に記念式典を行う。出席のお願いと記念事業の説明を行った。スローガンを「もっとボランティアでウィサーブ」とし会員の増にも力を入れたい。現在解散した長浜LCより1名の入会があった。また、女性会員も現在2名なので増員したい。広報誌も本年は毎月発行している。

② 宇和LCは、市、商工会、老人会とタイアップして新規事業を行う。宇和LCも本年60周年を迎えるので12月7日に記念式典を行う。

③ 内子LCは、地域の人に顔を知ってもらう活動を行う。老人施設を訪問して餅つきを計画している。献血は年8回サポートしている。

④ 野村LCは、昨年の水害被害の復興を活動の中心におく。新規会員の増は難しい。

⑤ 八幡浜LCは、例会の出席率が低下しているので、活性化を図りたい。委員会ごとに島を作り活発化する。また、アンケートでは、今は昼の例会がほとんどであるが、夜の例会を増やしてはとの意見がある。

⑥ 三瓶LCは、会員増強のため、商工会青年部を例会に招待している。例会では、近況報告を必ずしている。

⑦ 保内LCは、食を楽しむ例会を行っている。また、伊方、八幡浜、八幡浜みなとと合同例会を行っている。川之石高校より依頼があり薬害防止活動を行う予定である。会員は2名増となった。

⑧ 八幡浜みなとLCは、家族会の実施を大分で行う。魚の絵コンテスト展示会では市内の小学生から1000点を集めている。チャリティーバザーの収益は10万円あった。献血は年2回サポートし、120名ぐらいの人に協力をしていただいた。

⑨ 宇和島LCは、台北と提携している。例会では、順番に卓話を行っている。夜の例会が少ないので増加する予定である。

⑩ 伊予吉田LCは、昨年の水害で思うような活動は出来ていない。会報は毎月発行している。

以上の発言が各会長よりあった。

その後、懇親会が開催され、キャビネット、各クラブの交流が活発に行われ、料理では大洲のいもたきの非常に評判が良かった。

336A 地区３R ガバナー公式訪問　　宮下　利秋

本年度の３３６Ａ地区３リジョンの、地区ガバナー公式訪問が大洲ライオンズクラブのホストで、料苑たる井を会場に９月２１日土曜日に開催されました。

国歌・ライオンズクラブの歌を斉唱そして参加者の皆様の紹介並びにキャビネット関係者の挨拶が続きます。

「歓迎のことば」３R-RC　岡本幸一

最初に岡本幸一３R-RCが挨拶をされました。「今後３Rでキャビネットを構成しなくてはなりません。是非私たちのリジョンからガバナーを出してほしい。　高岡ガバナーは以前、キャビネット幹事をしていた頃から良く知っております。ガバナーは大変誠実な人です。今日の公式訪問でいろいろ質問して下さい。何でも聞いてくれるガバナーなので何でも相談して下さい。今回のガバナー選出につきましては、いろんな問題がありましたが、雨降って地固まると言う事で、キャビネットも基礎作りが出来たところであります。

これからは、力を出して頂ける事と思います。本日は、せっかく大洲に来て頂いたと言う事で、お帰りの際には小京都大洲を観光して帰って下さい。

「地区ガバナー挨拶」　地区ガバナー　高岡　英治

皆さんには、キャビネットの構成が遅れまして本当にご迷惑をお掛けいたしました。　キャビナットの立ち上げが5月から始める異常な事態となり、本当に苦しい立ち上げになりました。少し遅れましが、これから力を発揮

336A 地区３R ガバナー公式訪問　　宮下　利秋

高岡地区ガバナー

橋本充好 LCIF コーディネーター

いたしたいと思います。　日本は災害が続き、南予も昨年、水害に遭遇いたしました。私達は、ウィサーブの精神ですぐに応援する体制を取っていかなくてはなりませんが、１４６クラブの為に常に行動する事が目的であり、信念であります。真摯に真心を持って接して行きます。皆様のクラブのご意見を前向きに心にとどめ、一年間頑張ります。「四国は一つです」。

「第一副地区ガバナー　挨拶」
第一副地区ガバナー　酒井公一

昨年の災害に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。道前キャビネット時に２００人の会員が減少いたしました。７０００人いた会員が５０００人になりました。来季に向けて会員増強をお願い致します。来期のスローガンは「会員フアースト」に決めております。今期は高岡ガバナーと一緒に頑張ります。

「第二副地区ガバナー　挨拶」
第二副地区ガバナー　蔵本守雄

災害の多発により、ＬＣＩＦは世界一の財団として、多大な援助金を支出しております。皆さんもこのＬＣＩＦに対しまして協力して頂きたいと思います。　会員増強に対しましては、一クラブ純増一名でお願い致します。会員維持を図りながら、会員増強をして欲しいと思います。皆さんのクラブをクラブのやり方で、良いクラブを作って欲しい。　自分のクラブを大切にして奉仕活動を続けてほしい。

えひめ YOSAKOI まつり反省会　　2019.9.30.　　沖村　忠

えひめYOSAKOI祭　反省会
9 月 30 日(月)　19:00　から
料苑たる井にて開催されました。
主催者側・ボランティア・参加者
総勢約30名にて開催されました。

主な反省点

1. 審査なしについて
   雰囲気が良かった。上位常連チームばかりだと参加しにくくなる。参加者が増えると思う。
   踊っていて楽しかった。振興会と踊り子との親近感を感じた。
   審査を無くすことで、子供チームも華やかな大人チームと互い違いに踊ってはどうか。
2. ボランティアについて
   ボランティアの高齢化　若い人の参加募集をもっとしてはどうか。
   大学生・高校生のボランティアを増やしてほしい。
   ボランティアをひとりでする所がある。最低２人セットにしてほしい。
   渡し船・給水書のボランティアの方は温かくてよかったです。
   ボランティアとすぐ分かるスタッフTシャツを作ってはどうでしょうか。
3. 開催時期について
   来年2020年は東京オリンピックで警備員の確保が難しい。
   夏の気温上昇で踊る側・観客もたいへん熱い　熱中症等も考えて時期をずらしてほしい。
   観客用テントが欲しい。踊り子の待機所も日陰にしてほしい。
   スポットクーラー等準備できないか？
   よさこいは夏の踊りです。暑さに負けずに、夏休み中にしたい。
4. その他
   「伊予灘ものがたり」とのコラボは良かった。
   会場の草刈りが大変でした。
   仮設トイレの数を増やす・トイレ内の照明を明るく等考えてください。

たくさんの意見が出ました。これを参考に来年に向けて振興会では考えていくそうです。

しまなみ研修バスツアー（1）　しまなみドルフィンファーム見学　古森敏夫

10 月 16 日研修旅行
7 時に大洲を出発して亀田会長、沖村幹事、岩田レクレーション委員長夫妻、今井 L、冨永 L、菊池 L、中野 L、古野 L、浜田 L、宮下 L、小谷 L、山本事務局、そして古森の 14 名で久しぶりの研修旅行へ。関東地方の大水害の被災者の皆さんには申し訳ないのですが快晴に恵まれ楽しい旅行になりました。最初に伯方島のドルフィン公園でイルカに会いました。

全部で 8 頭いるそうでサバなどのエサ代に年間 2000 万円いるという話にびっくり。近くならアジを釣って持ってくるのだが、などと思いながら 5 年前に戸島でイルカの大群に遭遇した時のことを思い出しました。岩田 L と故山内 L の 3 人だったのですが予期せぬ出会いにただただ感動、なぜかこんな時は写真がうまく撮れずせっかくの出会いの証拠写真がありません。

でも人はなぜ「イルカ」にだけは特別の感情を持ってしまうのか不思議です。イルカを見ていると何となく心が癒されるのは僕だけではないでしょう。そんな純な心になって次は例の「加計学園」の研修です。その報告は濱田 L が担当です。

報告　古森　敏夫

しまなみ研修バスツアー（2）

加計学園　岡山理科大見学　　濱田耕造

伯方島にある「ドルフィン・ファームしまなみ」で身近にイルカと触れ合った後、いよいよ森友・加計問題で世間を騒がせた、加計学園の見学にバスを走らせました。小高い丘の上に甲子園球場の5倍に広さの敷地に管理棟、獣医学部棟、獣医学部教育病院棟等がまるでホテルの様なたたずまいを見せていました。

庶務課の若くて美人でそれに愛嬌のある真田さんの案内で、学園内を見学してまわりました。丁度、図書館で西条市出身の日本の獣医学の発展に多大なる貢献をされた、越智勇一先生の企画展示会が行われていました。その展示物の説明を受けると、日本の戦前からの獣医学界の流れがよく分かり研修になりました。

加計学園は現在、獣医学科（6年制）140 名、獣医保健看護学科（4 年制）60 名の 200 名の2学年 400 名の学生が学んでいます。男女の比率は約半々とのことでした。

真田さんに学園内各棟を案内されて見学しましたが、学園全体の設計が斬新で建物と周りの空間、樹木や花や芝が素晴らしい環境を造り出しています。

現在は学生寮は無いので自転車、バイク、交通機関を利用して市内から通学しているようです。

見学の後は学生食堂に案内されて、学生や一般市民の人達と一緒に昼食をとりました。私は人気メニューの「せんざんぎから揚げ入りカレー」460 円を食べましたが、とても美味しかったです。

2 時間余りの内容ある学園見学を終え、真田さんの手を振っての見送りを受けて、次の瓶ケ森スーパー林道へと出発しました。

報告　濱田　耕造

瓶が森林道・石鎚スカイラインツアー

加計学園を少し早めに出発をして、瓶が森林道を目指します。途中、高知県いの町と愛媛県西条市とを繋ぐ、新寒風山トンネルを通ります。全長は５４３２ｍあり、四国地方最長の道路トンネルです。トンネルを抜けて、道の駅「木の香」で休憩しました。この後難所の旧寒風山トンネルを目指すことになりますが、大変な難コースでした。平日にもかかわらず、午前中、瓶が森林道を訪れたハイカーが普通車でも離合困難なこの道路を数十台も下ってきました。従来バスが通るような道ではないので、沖村ドライバー以外の運転手は、絶対に行ってはいけません。この後、離合する自動車との接触すれすれの、手に汗握る天空の瓶が森林道ツーリングは、土小屋まで続きました。沖村幹事、無事に無事故完走、本当にご苦労様でした。

紅葉には少し早いですが、絶好のツーリング日和の瓶が森林道は、多くのバイクと車が走っていて、紅葉スポットでは、皆さん雄大な自然をカメラにおさめていました。私たち乱暴なバスツアーのオジサン達は、四国山地を一望できる絶好の場所、東黒森山直下の広めの路肩にバスを止め、雄大な山並みを眺める事と致しました。

前方になだらかな「自念子の頭」、南には「手箱山」「筒上山」と石鎚山系の峰々が続きます。まさに「四国は山国」です。再びバスに乗車し、土小屋を目指します。やがて遠くに「石鎚山」が遠望できるところまで近づいてきました。石鎚スカイラインの見どころの一つでもあります、石鎚百景、石鎚弥山から墓場尾根までの長い頂上ラインは、見る場所によって、長大な尾根を延ばした山容や、

瓶が森林道・石鎚スカイラインツアー

スカイラインでは天を突く尖峰を見る事が出来ます。私達は対向車との離合を繰り返しながら、遠くに氷見二千石原の広大な斜面が望める「瓶が森」岩蜂「子持ち権現」を振り返りながら、高知側からの道路、「よそこい峠」を過ぎて行きます。つづれ折りの林道にはブナの原生林が拡がり、高山であることを感じさせます。やっとの思いで「岩黒山」直下の「土小屋」到着です。

①自念子の頭　②瓶が森遠望　③土小屋

高校時代「瓶が森～石鎚山」縦走した時には単なる山小屋だった様に記憶していますが、今は山肌に張り付いた、ロッジ付きの建物になっています。ここで暫しのトイレ休憩です。

１５００ｍの天空の林道ツアーはここで終了で、下界を目指します。土小屋からは片側一車線ずつの快適な石鎚スカイラインを下って行きます。快調過ぎる飛ばし方で、美川の道の駅に到着です。午前中からの長旅と麦酒の飲み疲れか、殆ど無言の高齢者専用マイクロバスと相成りまして、最後の山越え、「真弓峠」を目指します。小田に無事到着、更に内子・大洲を目指します。古森氏の最終の打ち合わせも済み、目指すは「台湾料理・味源」での打ち上げで終了となる予定通りの進行であります。

何にもしない組は、宴会場で下車し、お世話役は、荷物の撤去等の最後のお仕事が待っています。これで同じ会費だと誠に申し訳ないの一言であります。何にもしない組は、席に座り、早速の冷えたビールであります。沖村ドライバーの胃袋にはメガジョッキが数杯！いや崇拝でお見事であります。

会報委員会　宮下　利秋

もう一度読みたいあの記事

初めてのヘアドネーション

7歳の長女が髪の毛を提供

前橋中央ライオンズクラブ（中野泰久会長）は今年二月、奉仕活動の幅を広げ、小児がんや事故などで髪の毛を失った子供たちを支援するために、ヘアドネーション支部（立谷香織支部会長／七人）を結成した。支部結成に加わってくれたのは、前橋市内の美容室アトリエ2，23（アトリエ ドゥー・ドゥー・トロワ）の皆さんで、今年からヘアドネーション賛同サロンとして活動をされている。ヘアドネーション支部では、小児がん支援の啓発活動と髪の毛提供の仲介を行う。ヘアドネーションは、寄付された髪だけで作ったメディカル・ウィッグを、頭髪に悩みを抱える18歳以下の子どもたちに完全無償提供している日本で唯一のNPO法人JHD&C（ジャーダック）を通して実施。

具体的には美容室のお客様にヘアドネーションの意義を説明し、賛同して頂ける方の髪の毛（31cm以上）を基準に従ってカットしJHD&Cへ送る。

これまでもヘアドネーション自体への認識はあったが、支部結成によって多くの子どもたちが医療用ウィッグを必要としている現状を知った。そして、この問題を家族で話し合い、長女がヘアドネーションをすることになった。

7歳になる長女には、半年くらい時間をかけて少しずつ説明し、彼女も「お友達の役に立ちたい」という気持ちが徐々に芽生えてきた。幼少期にヘアドネーションというアクティビティに参加出来たことは、親にとっても子どもにとっても、良い学びと経験になったと思う。ヘアドネーションを行うと決めてから、いろいろな方と話をする機会があり、ヘアドネーションの認知はあっても、「どれくらいの長さが必要なのか」「どこで切ってもらえるのか」「どのような手順で行われるのか」「やりたくても、きっかけがなかった」など、多くの声を聞くことが出来た。

ヘアドネーションの啓発とライオンズクラブの活動に少しでも役立てば幸いである。

（支部委員長　太田　吉昭）

ライオンズクラブ国際協会３３６－Ａ地区

第６６回地区年次大会
松山大会

大会スローガン

『いい、ゆ加減まつやま』へようこそ

～四国は一つ　真心こめて「ウィ・サーブ」～

２０２０年４月１１日(土)・１２日(日)　愛媛県松山市

『日本一のおもてなしの街　お城下まつやま』を存分に愉しんでください

地区年次大会委員会　委員長　大川　耕三

来年４月の地区年次大会松山大会にお越しいただいた多くのみなさまから「松山大会は良かった」「松山はとても良いところだった、また来たい」と言われますよう、微力ながら全力で取り組みますので、ご期待いただきますようお願い申し上げます。

松山は“日本の名城松山城”“日本最古の温泉道後温泉”“正岡子規の俳句文化”“夏目漱石時代の坊ちゃん列車”“柑橘の王様紅まどんな”“ほんとに美味しい鯛めし”そして“城下街松山は日本一のおもてなし”・・・みなさんに心より喜んでいただけること間違いありません。

大会スローガン――『いい、ゆ加減まつやま』へようこそ　高岡ガバナーの思いを込めたサブスローガン～四国は一つ　真心こめて　「ウィ・サーブ」～　のもと、１リジョン１８クラブが心をこめて全力で準備し、リニューアルした県民文化会館がお待ちしています。各クラブからこれまでの最高人数での参加をお願いいたします。

大洲の昔懐かしい町並みや風景　　その２

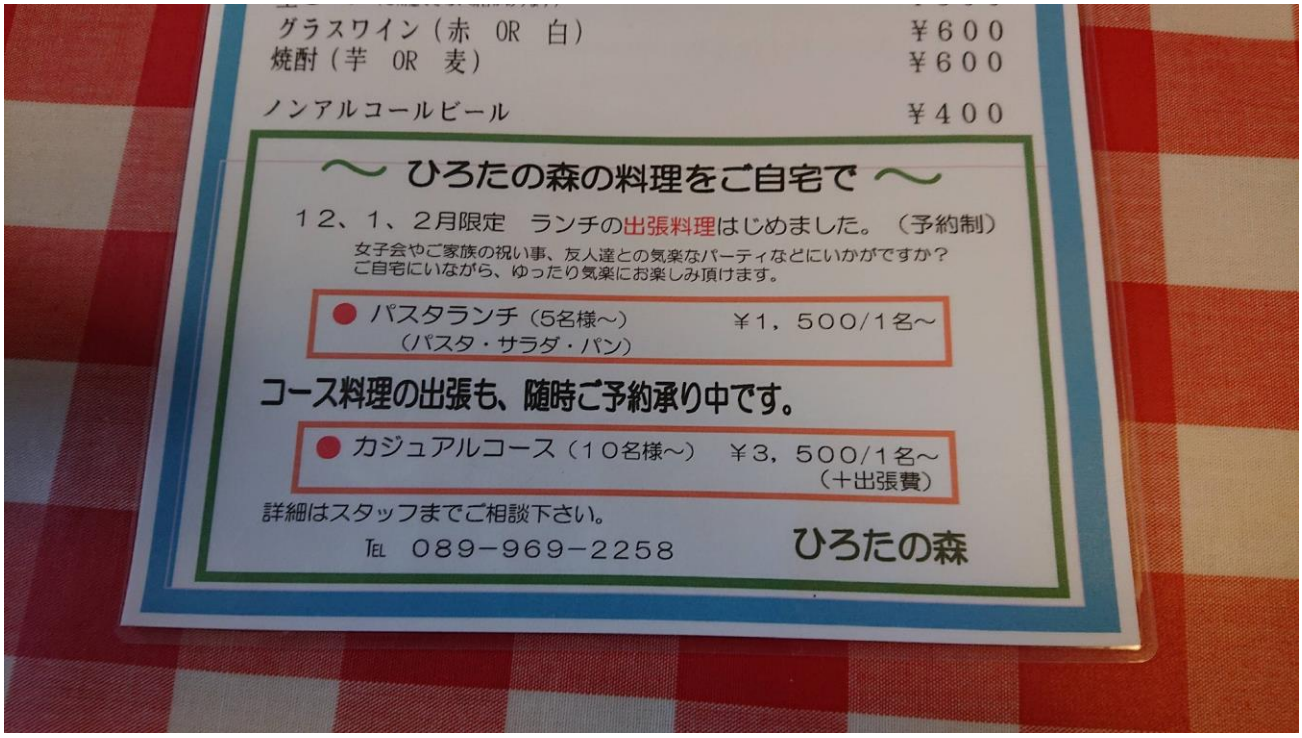
本町一丁目付近

中村地区から大洲町を望む

北西より見る大洲城天守閣

大洲城下町

会報担当委員長の
よ･り･み･ち



写真の説明は小谷委員長より

ドネーションありがとうございます　(2019.9/27.-10/11.)

ライオンズのこと、個人的なこと、身の回りに起こったことへの
感謝、報告、幸せをドネーションで共有しましょう！

9/27	眞鍋	大型運転免許（一種）やっとの思いで取れました
	寺尾	保育所のイベントから小学校の運動会と孫の成長を感じています
	古森	永井君ドローン講習ありがとうございました、LCへの入会式はいつですか
	冨永	災害が多発しています、経済的損失を補填するには損害保険です
	中野	ドローンの実演を楽しみにしています
	矢野	ようやく秋の気配がしてきました、皆様風邪などひかないよう
	亀田	地区ガバナー公式訪問ではいろいろお世話になりました
	松岡	東京に行っている孫に子供ができました、14人目の孫です
	久保	今月娘二人と孫3人が帰ってきました。1週間でしたが疲れました
	沖村	今日のドローンありがとうございます。永井様ライオンズ入会お願いします
10/11	菊池	ごみゼロの日にもらったゴーヤが天寿をまっとうしました。
	沖村	16日のため瓶が森林道を試走してきました。天気も良く素晴らしい景色でした
	亀岡	ラグビーW杯オーストラリアVSウルグアイを見ました
	亀田	今日から二泊三日で広島に行ってきます、旧友と騒いできます
	中野	朝夕は寒くなりましたが、日中は真夏日が続いています、体調気を付けましょう
	古野	最近例会欠席が多くて申し訳ありません
	亀岡	11/2　亀岡モータースまつりです、みなさん来てください

ドリンクドネーション
9/27　9月第2例会

ドリンクドネーション　ご協力
ありがとうございます

眞鍋	兵藤	宮下
亀田	沖村	矢野
寺尾	久保	濱田

(株)ケーブルネットワーク西瀬戸
代表取締役

西田　洋一

〒795-8603　大洲市徳森 248
TEL:0893-25-0212/FAX:0893-25-0217

国土交通省 四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
所長
麓　博史
ふもと　ひろし

〒797-1505
大洲市肱川町予子林6-4
Tel : (0893)34-3000(代表)
Fax: (0893)34-3358
E-mail: fumoto-h8311@mlit.go.jp
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

古野　青弘

くうちゃん　食堂

大洲市河辺町植松 382
TEL：0893-39-2233 FAX：0893-39-2235

株式会社サンフーズ

堀　田　修　治

大洲市菅田町菅田甲 2522
TEL:25-4450
ＦＡＸ：25-4452

桝田　與一

大洲市若宮 363
電話：0893-24-2778

伝えたい気持ちを花に託してみませんか。
お花を贈るという素敵な演出が、
よりあなたのメッセージを印象的に…。

㈲フラワーショップ松岡

代表取締役　松岡　巖

大洲市東大洲166番地
電話24－3536･FAX23－5745

医療法人 恕風会
大洲記念病院

介護老人保健施設　ひまわり

事務長　古川知巳

〒795-8510　愛媛県大洲市徳森 1508-1

大洲市
Ozu City Official Website

大洲市役所

副市長　松田　眞

大洲市大洲 690 番地 1

表紙の写真　／「尖峰　石鎚山」　　宮下　利秋（撮影者）

石鎚山は、有名な霊山であり、「修験道の祖」である役小角によって 1,300 年前に開山されたと伝えられています。山そのものが神体山として崇拝され、圧倒的な山頂付近の険しい山容、巨木と荘厳な雰囲気を漂わせる登山道は、霊山と呼ばれるにふさわしい神秘性を感じさせてくれます。 石鎚神社は山麓にある口之宮本社、石鎚山中腹の中宮成就社、山頂（弥山）にある奥宮頂上社、土小屋にある土小屋遥拝殿の 4 つの社殿から成り立っています。 今回のツアーで見た美しい川、伊野町道の駅「木の香（このか）」前の川は、吉野川の上流でありました。 そして「仁淀ブルー」で有名な仁淀川は今回石鎚スカイラインの途中の展望台で見た「御来光の滝」付近に源流を持っています。 愛媛県側の呼び名は「面河川」で仁淀ブルーのルーツは面河渓と言う事になります。

※ 今回の編集後記は無くして、スペースの関係で表紙写真とさせていただきます

ライオンズクラブ国際協会　336-A 地区 3R-1Z　　発行責任者　亀田　雅史　　編集　会報編集委員会　　印刷　大洲ライオンズクラブ事務局
大洲ライオンズクラブ　会報　　事務局　〒795-0012　大洲市大洲 891-1　TEL&FAX　0893-23-5771
2019 年 10 月号　NO.424　　e-mail : ozulc@gold.ocn.ne.jp